

植 調

第 1 卷
第 7 号

昭和 42 年
12 月 発行

財団法人 日本植物調節剤研究協会編

目 次

飼料作物・草地の除草剤，生育調節剤（農林省畜産試験場 農学博士 大泉久一）……	1
除草剤の今後の方向（7）（農林省農事試験場 農学博士 荒井正雄）……………	4
昭和42年度春夏作そ菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績概要（農林省園芸試験場 戸田幹彦）……………	6
新除草・調節剤 ……………	10

昭和 42 年 を 送 る

財団法人 日本植物調節剤研究協会会長 河 田 党

昭和39年11月14日，官民関係各位の協力によって，当協会が設立されてから丁度3年，理事の各位も第一期の任期を終え，その間，転任その他の理由で交替された人もあるが，多くの方々はこの3年間に亘って当協会の運営に尽され，更に引き続き第二期の理事として就任された。設立後，不肖私が会長の重任をお引き受けすることになったが，これ等理事各位の御援助により，日々の仕事を進めると共に，所期の目標に向って，緩いながらも発展の方向をたどっていることを感謝する次第である。しかし，普通3年といえば一応一人前となるのが世間並であるが，私の不手際

から，人事その他，未だ完全な落ち付きを見せず，関係者各位に御迷惑をかけていることをお詫びする。特にこゝに御報告しておきたいことは，細々ながらも協会の研究所を持つ段取になったことである。場所は埼玉県鴻巣市の農林省農事試験場の圃場に接した所で，元植苗紙研究普及会の研究所であった。しかし，こゝで試験をする人的構成については未だ具体化していないし，試験遂行上の構想その他についても今後さらに関係各位の御協力に待たなければならない。以上，お願いとお詫びとを以って創立満3カ年の昭和42年を送る言葉としたい。